

北九州市PCB処理監視委員会だより

Vol. 17

平成19年
9月

若松区響灘地区で行われるPCB廃棄物処理事業が、安全かつ適正に行われるよう、北九州市は、施設の計画、建設、操業の各段階を通して監視を行う「北九州市PCB処理監視委員会」を設置しています。

監視委員会の活動内容については、「監視委員会だより」を発行し、隨時、市民の皆さんへお知らせします。

今回は、第17回監視委員会の内容についてお伝えします。

◇ 第17回北九州市PCB処理監視委員会

第17回監視委員会を、7月11日(水)日本環境安全事業株(以下:JESCO)北九州事業所において開催しました。当日は、委員10名のほか、JESCOや環境省、北九州市などPCB処理事業に関連する行政機関が出席しました。

◇内 容

○施設入り

○会議(議題)

- (1)他事業の最近のトラブルと北九州事業での取組みについて
- (2)第1期処理施設の操業状況について
- (3)第2期処理施設建設工事について

【施設入り】

議事に入る前に、委員は監視委員会要綱に基づき、PCB処理施設への立入りを行いました。

今回の立ち入りでは、フォークリフトによるコンデンサ運搬およびグローブボックスへのコンデンサ搬入の様子を見学しました。



(コンデンサ搬入の様子)

◎施設入りに関する委員のコメント

- ・「ご安全に」と言いながら作業員同士で安全を確認し合って作業を行なっていた。安全性を高めるために常に気を配っていると感じた。
- ・フォークリフトの停止位置の目印が見当たらなかった。
- ・操作ボタンの押し間違え等を防止するため、作業者の手元をもう少し明るくするべきだ。
- ・マスク装着したままで指差呼称を実施しても聞こえにくいのでは。
- ・指差呼称によって作業を進めるのであれば、マスクの方式は少し妥当ではないと思った。
- ・管理区域内ではないが、通路でタバコのにおいを感じた。休憩所の換気等をもう一度見直したほうがよい。
- ・作業室内は、以前の見学時よりも、かなり体感温度が下がっているように感じた。
- ・解体室内の装置のメンテナンスはどうなっているのか疑問に感じた。機械のくず等が内壁に付いており、搬入場所の床も汚れていた。

【会議議事内容】

(1) 他事業の最近のトラブルと北九州事業での取組について

①豊田事業所および東京事業所で発生したトラブルについて報告されました。

[トラブル例]

- ・豊田事業所における真空加熱分離エリアでの冷却水漏れ
- ・豊田事業所におけるベンゼン濃度管理目標値の超過
- ・東京事業所における排水処理設備不具合 など

②他事業所のトラブルに対する北九州事業所での取り組みが報告されました。

[取り組み例]

- ・豊田事業所の真空加熱分離エリアでの冷却水漏れについては、北九州事業所では冷却水を使用せず空冷方式を採用しているため、同様の事故は発生しない。また、他のエリアで水漏れが発生した場合においても、オイルパン、防油堤で捕捉するため、施設外部への漏水はないと考える。オイルパン、防油堤の溶接部、目地等については外観点検により、異常がないことを確認している。

(2) 第1期処理施設の操業状況について

①瞬時電圧低下について

平成19年7月2日午前中に九州電力（北九州・福岡1号線の若松側）への落雷のため、瞬時電圧低下が発生しました。その結果、P C B処理施設の一部が安全確保方向に自動停止しました。この影響による漏洩等の設備被害及び人的被害はなく、施設点検等の実施後、同日15:00に問題なく復旧しました。多重の安全対策が正しく機能した例として、捉えています。

②平成19年6月末時点の受入台数、処理台数について

トランス	コンデンサ
P C B廃棄物の受入台数(台)	620 2,472
P C B廃棄物の処理台数(台)	604 2,308

※ 表中の受入台数、処理台数には、試運転期間中の台数も含まれています。

③環境モニタリング結果について

平成18年度の環境モニタリングとして、北九州市およびJ E S C Oが実施した周辺環境や排出源における測定結果は、全て環境基準等に適合していました。

④コンデンサ処理ラインの操業形態変更について

これまでの16時間操業（2班2交替）のコンデンサ処理ラインを24時間操業（4班3交替）に変更した旨が報告されました。この操業形態変更によって、コンデンサ処理量の向上の他、作業者の労働時間の短縮が可能したこと、毎日1班が必ず休みとなるため、年休取得時の代務者の手配が容易

となること等のメリットがあります。

⑤空調設備改善工事について

防護服を着用し作業している粗解体室・解体分別室について、空調設備を改良し、室内温度を下げるにしました。この改善によって、作業従事者の負荷軽減が期待できます。

(3) 第2期処理施設建設工事について

第2期処理施設建設の進捗状況について、法手続きや建設スケジュール等が報告されました。下図は、第2期処理施設の完成予想図です。第2期処理施設は、平成21年3月操業開始を予定しています。



（完成予想図：左側が第2期施設。右側が第1期施設）

【討議内容】

委員会では以下のような質疑・応答がありました。

◎ 他事業の最近のトラブルと北九州事業での取組について

（質問）委員

豊田事業所でのベンゼン濃度の問題では、活性炭が想定よりも早く破壊していたと記載されているが、北九州事業でも同様な事象が起こる可能性を考えているか。

（回答）J E S C O

北九州事業所でも同様の設備があり管理している。具体的には、年2回の測定で管理目標値を50mgとしており、その10分の1の5mgを超えたら活性炭を即交換するという方針で管理している。今までのところ、これを超えることはないため、このレベルで管理を継続している。

（意見）委員

北九州事業所は、2期工事がこれから始まっているとしている段階なので、他の事業所の施設で起こっているトラブル等も含めて、もう一度安全確認を最優先とした事業の経営を行っていただきたい。

(質問) 委員

今回の豊田事業所のベンゼン濃度超過に類似した事象が北九州事業所でも起こっていたと思う。それについて、説明してほしい。

(回答) JESCO

平成 17 年度に、北九州事業所では吸着剤の充填不具合が原因で悪臭成分のアセトアルデヒドが目標値を超過した事象が起きている。この件は、その後、北九州市の監視指導課からの指導で、きちんと充填できるようにマニュアル化しており、今は問題はない。



◎ 第 1 期処理施設の操業状況について

(質問) 委員

今回の瞬時電圧低下のような事象については、セーフティネット、フェイルセーフの多重安全対策が働くこととなっており、それが正常に働いたという認識でよいか。

(回答) JESCO

正常に働いたと認識している。安全のため止まるべきものは止まり、動くべきところは動いていたと理解している。

(質問) 委員

環境モニタリング項目のムラサキンコガイには、基準が設定されてないとのことだが、数値が上昇傾向なのでは。

(回答) JESCO

数値にはばらつきがあるため傾向の判断は難しいが、これまで海洋環境の専門家に相談しており、異常な数値ではないとの回答を頂いている。

(質問) 委員

空調設備改善工事によって、現行の温度 27°C を 20°C に変更することだが、どのような根拠で 20°C を設定温度としたのか説明してほしい。

(回答) JESCO

第 1 期施設の試運転の段階で、全面防護服を着用した作業者の体感状態を確認したところ、20°C がよかつたため設定した。

(質問) 委員

20°C で冷えた防護服のまま、27°C の部屋には移動しないということでよいか。つまり 20°C のところから 27°C のところに移った場合に結露する可能性があるので。

(回答) JESCO

基本的に部屋間の移動はないので、問題はない。

◎ 第 2 期処理施設について

(質問) 委員

第 1 期施設と第 2 期施設とで、環境管理および安全管理は独立して行うのか。

(回答) JESCO

第 2 期施設の工事から完成までは独立したかたちで、完成以降は 1 期と 2 期は総合したかたちで管理しようと考えている。運転会社をどうするか等の詳細は今後の検討事項である。

◎ その他

(質問) 委員

第 1 期施設は処理終了予定の平成 27 年まで使われるのか。

(回答) JESCO

第 2 期施設完成後も、トランスは原則として第 1 期施設で受け入れることとしており、1 期施設、2 期施設を並行操業して 27 年 3 月処理完了と考えている。

(質問) 委員

第 2 期の処理方法が、PCB 処理としては初めてのプラズマ溶融分解法になるわけだが、これに対する技術的な準備が必要なのでは。

(回答) JESCO

第 2 期施設では、プラズマ溶融設備を 2 基設置する予定だが、まず 1 基を確実に使いこなせるようになってから次に進むというステップ的な導入を考えている。また、これまで、実証設備を用いてエンジニアリングメーカーと議論し、データを確認しながら進めてきたが、今後は第 2 期施設の試運転の段階でしっかりと確認していく。

北九州市PCB処理監視委員会委員

○学識経験者

氏名	所属
浅岡 佐知夫	北九州市立大学国際環境工学部教授
是永 逸生	(社)日本技術士会九州支部副支部長
清田 高徳	北九州市立大学国際環境工学部教授
河井 一明	産業医科大学産業生態科学研究所准教授
吉永 耕二	九州工業大学工学部教授

○市民代表(公募による選出者)

氏名	職業
嶋津 元彦	元団体職員
津田 潔	元会社員
成田 裕美子	自営業専従者
古野 和彦	団体職員
水城 秀信	大学院生

○市民代表(市民団体からの推薦者)

氏名	推薦団体
大庭 卓朗	若松区自治総連合会
岡田 黎子	北九州市女性団体連絡会議

◆ PCB処理事業について

※ PCB処理事業に関するお問い合わせは、
日本環境安全事業株 北九州事業所 TEL 093-752-1113 まで
〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町1-62-24

※ PCB処理事業に関する情報は、
日本環境安全事業株のホームページ (<http://www.jesconet.co.jp/pcbtop.htm>)
に掲載しています。

◆処理施設の見学について

※情報公開ルームは、ご自由に見学ができます。【開館時間：平日 9:00～17:00】
(詳しい説明をご希望される方は、予めお電話 (093-752-1113) でご予約下さい。)

◆ PCB処理監視委員会について

※監視委員会は、市民の方の傍聴ができます。
委員会の開催は、市政だよりなどでお知らせします。

※ PCB処理監視委員会（会議資料、議事録など）や、
PCB処理事業に関する情報は、市のホームページ
(http://www.city.kitakyushu.jp/pop_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=12334)
に掲載しています。

[発行]北九州市PCB処理監視委員会

事務局：北九州市環境局環境経済部環境産業政策室

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1

TEL 093-582-2630 FAX 093-582-2196